

新潟市 江南区自治協議会シンポジウム

次世代につなげる地域コミュニティのかたち

2026年8月29日



酒本 宏

KITABA

2000近い町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社KITABA 代表取締役 
- 技術士(都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師(コミュニティデザイン)
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 札幌市内の町内会の総務部長

プロジェクト(市民自治・コミュニティデザイン関連のみ)

- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年 〜札幌市、仙台市や函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 〜札幌市町内会アドバイザー派遣業務
- 2022年 仙台市、栃木県宇都宮市、砂川市、余市町、斜里町などで講演・ワークショップ
- 2023年 久留米市、堺市、川崎市、仙台市、石巻市、盛岡市などで講演・ワークショップ
札幌市まちづくりセンター所長研修、大阪市職員研修、函館市職員研修
- 2024年 住宅開発・建築等における町内会加入促進アドバイザー業務及びPR強化業務
横浜市都筑スタイル 集合型コンサルティング運営業務委託
北九州市、加古川市、仙台市、戸田市、石巻市、盛岡市など講演・ワークショップ
札幌市まちづくりセンター所長研修、大阪市職員研修、函館市職員研修
- 2025年 札幌市などの北海道の自治体、仙台市、横浜市、鶴岡市、糸島市、加古川市、久留米市などで講演やワークショップを実施

著書

- 道の駅／地域産業振興と交流拠点 編集・共著
- 「集落営農」／農山村の未来を拓く 共著
- 「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略 共著
- 「エコタウン」が地域ブランドになる時代 共著
- 農産物直売所／それは地域との「出会いの場」共著
- 「村」の集落ビジネス 中山間地域の自立と産業化 共著 など

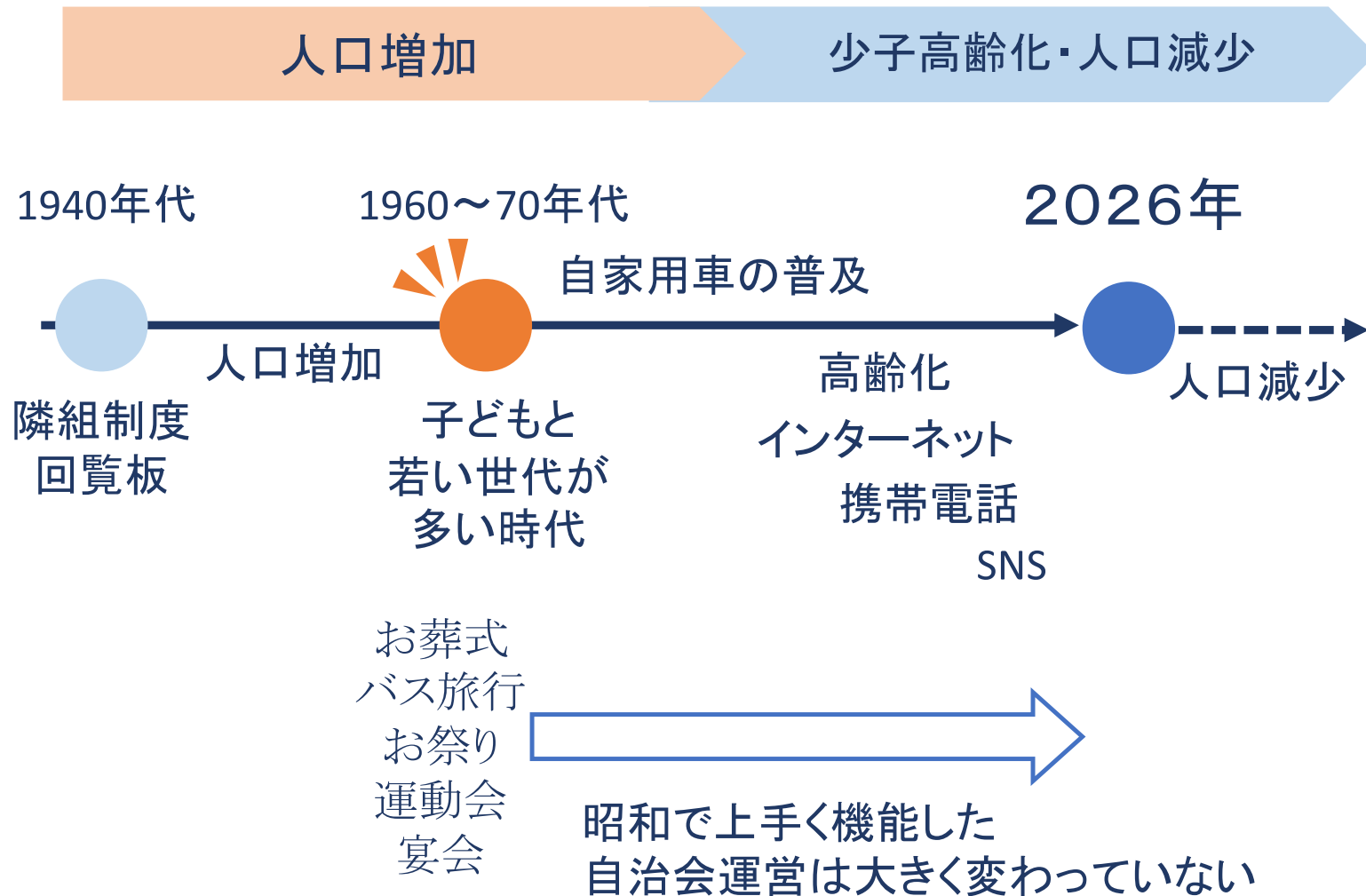
今日の話題

1. 自治会・町内会の現状
2. 令和の自治会・町内会のカタチ
3. 次世代につなげる地域コミュニティのカタチ



1. 自治会・町内会の現状

(1) 昭和につくられた自治会・町内会組織



昭和モデルの自治会・町内会

盆踊り・夏祭り



運動会



もちつき大会



回覧板



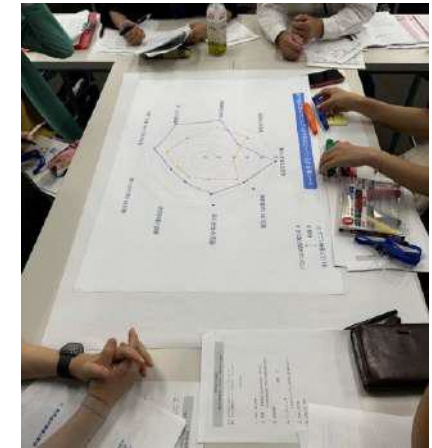
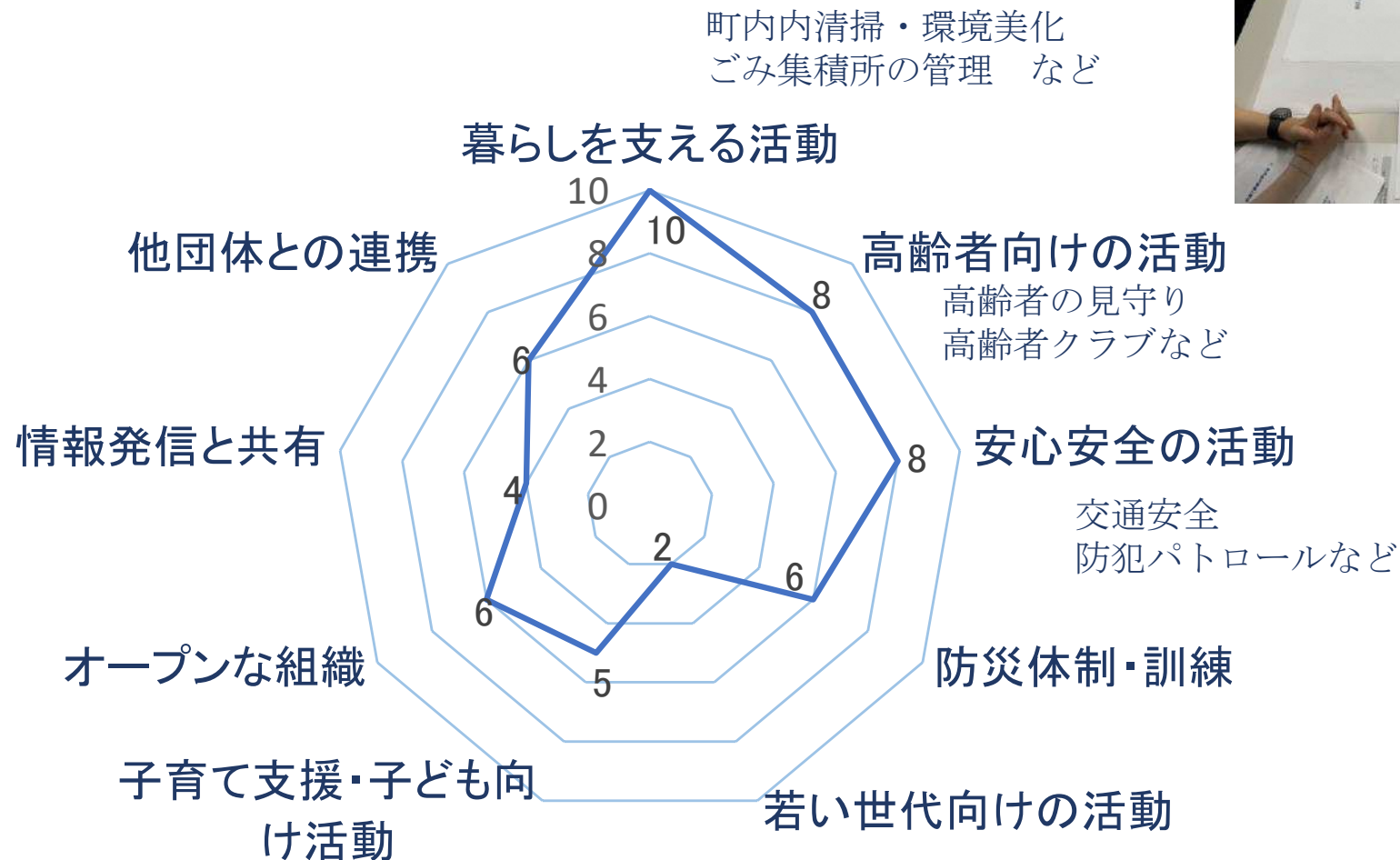
バス旅行



- 人口が増えていた(担い手が自然に生まれた)
- 昼間に地域に人がいた(専業主婦世帯が多かった)
- 加入が「当たり前」だった(特別な選択ではなかった)

(2) 自治会は高齢者向けの活動が中心

○全国での自治会・町内会ワークショップから



○高齢化社会のため高齢者中心の活動になっている自治会

- 急激な高齢化により、役員の高齢化、そして高齢者向けの活動が中心になっている。

■ある町内会の年間行事

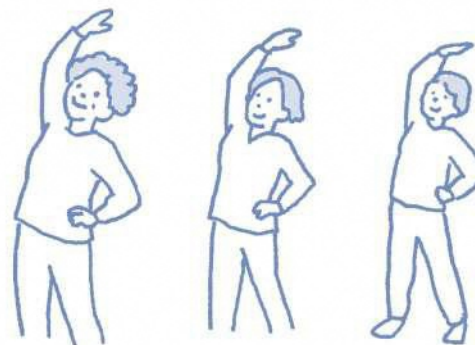
	主な活動	主な参加者
4月	自治会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	クリスマス会・餅つき	子ども
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

● 高齢者による高齢者のための自治会・町内会

趣味の会



健康体操



昼間の茶話



カラオケ



- 昭和で機能した組織のまま
- いつの間にか高齢者中心の役員による高齢者向けの活動が中心
- 自治会は多世代の場ではなくなった

(3) 地域コミュニティへのニーズは多様化している

育児中の住民



- 子育て中は孤独になりがち
- コミュニティのなかで子育てのアドバイスがあると良い
- 情報はInstagram、LINEで欲しい

子育て世代



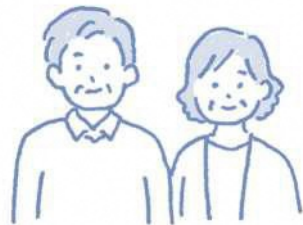
- 子ども向けイベントがあるとよい
- 多世代交流があるとよい
- 地域食堂などがあると助かる
- 子ども向けのクリスマス会などは手伝える
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

若い世代



- 孤独を感じている
- 適度な人のつながりは必要
- コミュニティカフェなどが欲しい
- お祭りは楽しみにしている
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

高齢者



- 健康イベント、カラオケ会を開催して欲しい
- 祭りは欠かせないし、日帰り旅行もやって欲しい
- 情報は回覧板もあった方が安心

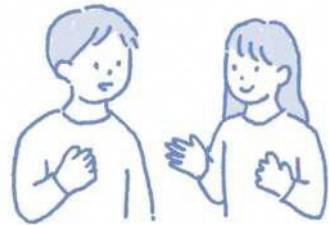
外国人



- 自治会を知らない
- 地域コミュニティのルールを教えて欲しい
- 地域コミュニティの方々ともっと交流したい
- わかるように情報提供してほしい

○中学生と高校生の地域に対するニーズ

中学生
高校生



- 友だちとおしゃべりできる場所が欲しい
- 家の近くで気分を変えて勉強できる場所があると良い
- 情報はInstagram、TikTokで欲しい



(4) 加入率の低下の要因と加入促進に向けて

若い世代・現役世代が自治会に加入しない理由

- 自治会を知らない
- 何をしているのかわからない
- 必要性を感じない
- 加入するきっかけがない
- 情報が入ってこない
- 参加する時間がない
- 役員にさせられそうで怖い



加入促進に向けた必要なこと

- 若い世代・現役世代に必要性を感じてもらえる活動
- 若い世代・現役世代に伝わる情報発信
- 活動の見える化
- 参加のきっかけづくり

(5) 担い手不足の要因

若い世代・現役世代が自治会に参加しない理由

- 必要性を感じない
- 時間がない
- 役員の負担が大きい



現在の自治会組織が重たく感じる理由

フルコミット型

- 任期が長く、責任も大きく、会議が多い
- 断れない雰囲気、簡単に抜けられない印象
- 義務で重たい印象



若い世代・現役世代も参加・参画しやすい組織と運営

(6) 自治会・町内会の加入率の低下・担い手不足の要因

高齢者中心の運営

昭和の自治会イメージ
高齢者向けの活動中心
若い世代のニーズがわからない

自治会役員



自治会に
加入するのは当たり前

地域コミュニティは必要
自治会のことは知らない
自治会の必要性を感じない
情報が届かない
時間がない
参加するきっかけがない

住民



つながりが希薄
意識の違い



楽しく参加したい

2. 令和の自治会・町内会のカタチ

(1) 令和の自治会・町内会が多世代で楽しく参加

- ・ 高齢者中心から「多世代による運営」を進める
- ・ 義務的参加から「楽しく参加」できるようにする



多世代運営で楽しく参加

高齢者

- ・経験がある
- ・日常的な活動
- ・地域のつながり



若い世代・現役世代

- ・企画
- ・情報発信
- ・デジタル



多世代型自治会・町内会



中学生・高校生

- ・行動力
- ・情報発信
- ・ボランティア



子どもたち

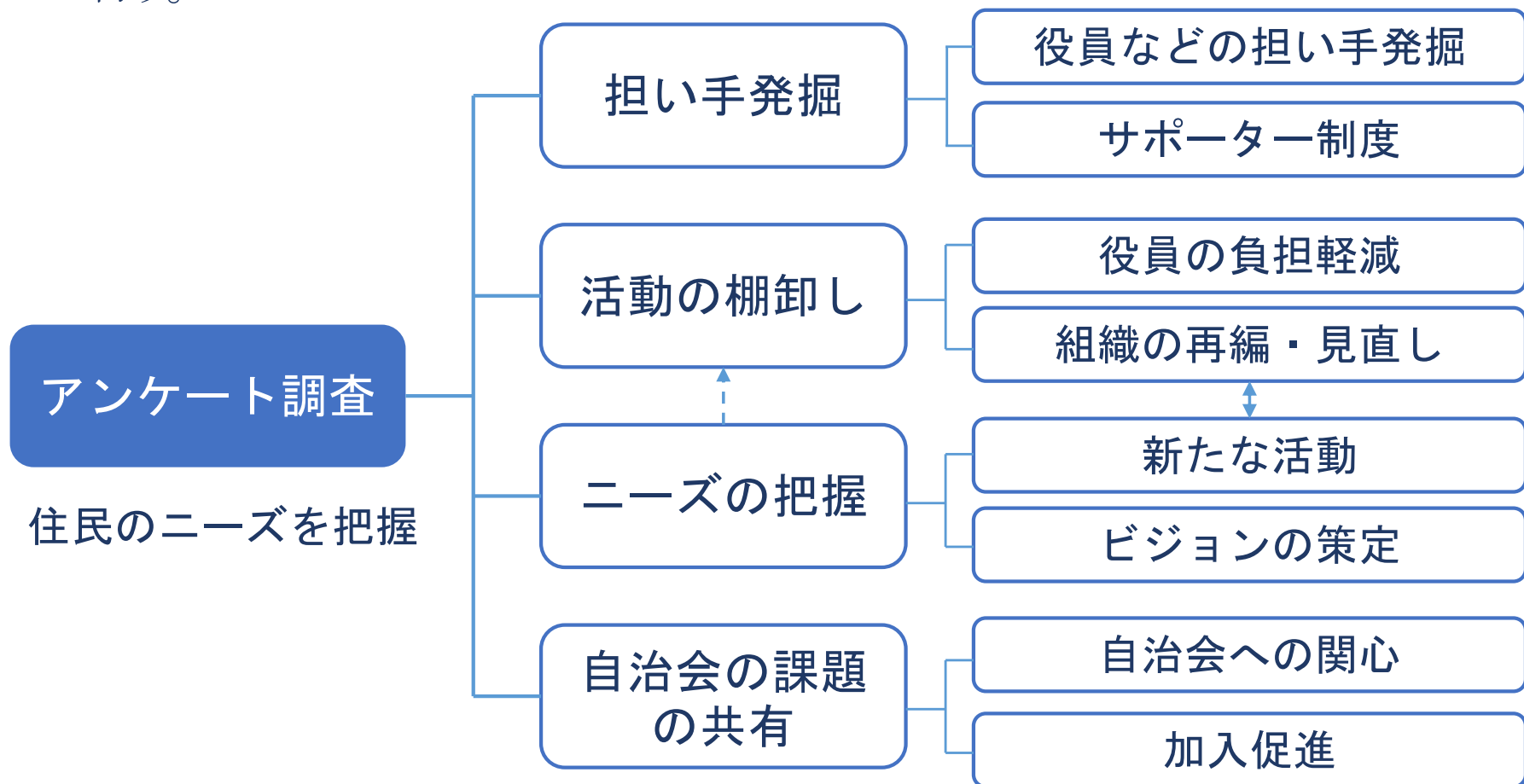
- ・地域を明るく
- ・イベントのサポート



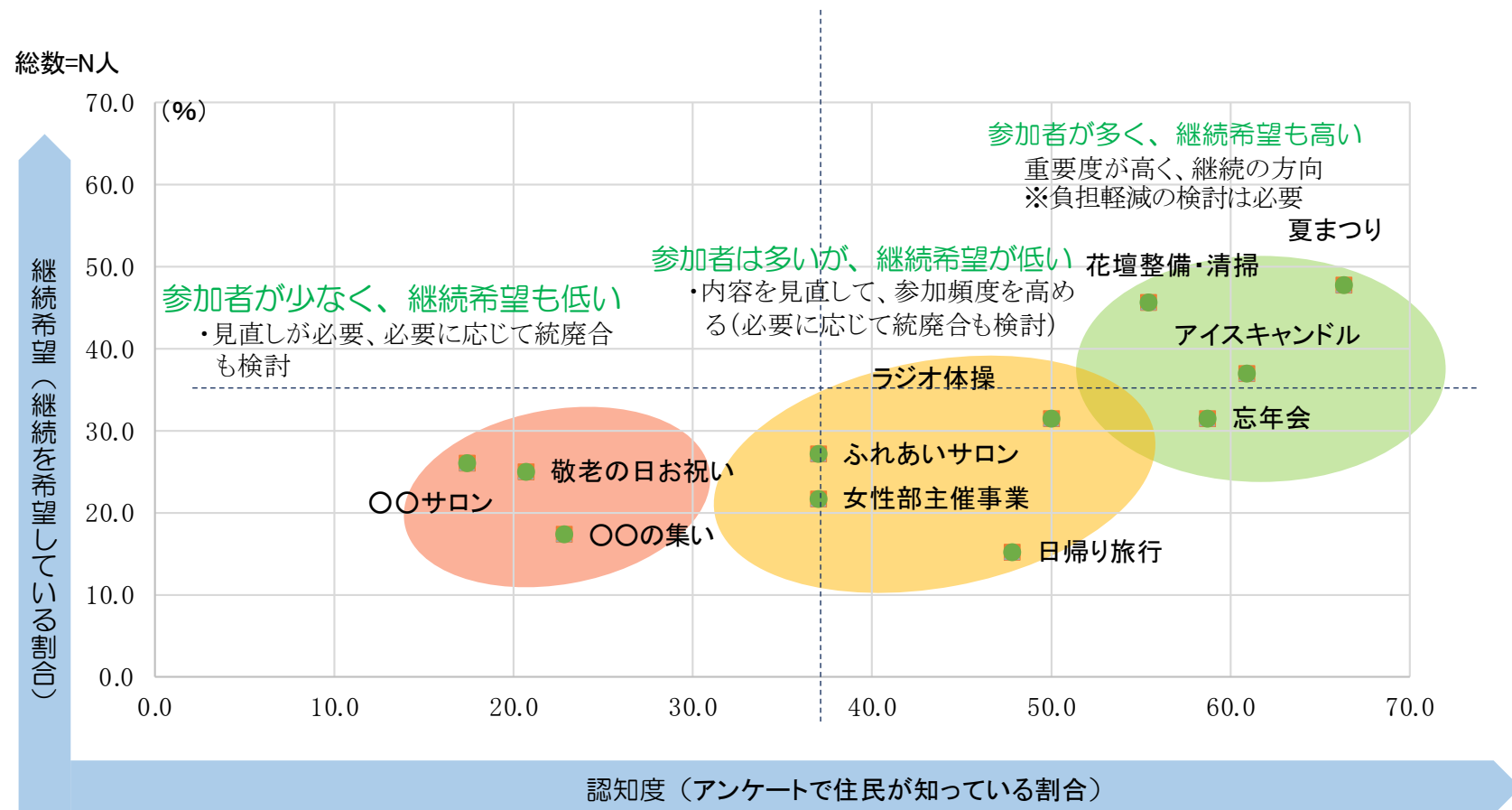
(2) アンケートでニーズの把握と人材発掘

●アンケートの実施

- ・ 住民アンケートを実施して、ニーズを把握するとともに人材の発掘などを行う。

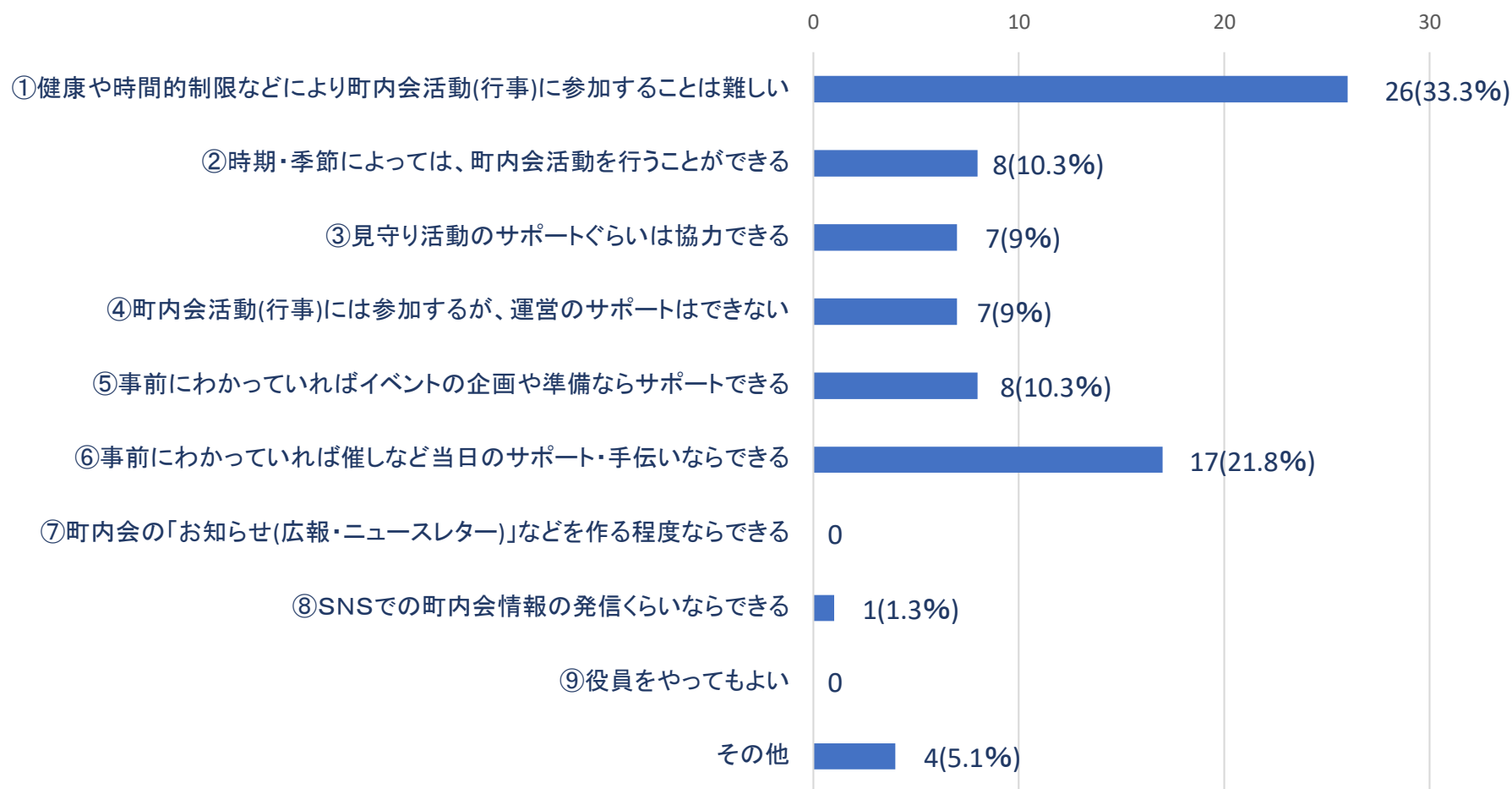


- アンケート結果に基づいて活動の棚卸しを行います。
- アンケートの結果に基づいてニーズに応じた活動を行うことが必要です。



●アンケートの具体例

T町内会では、前述の通り役員の担い手不足と高齢化により、今後の町内会運営に支障をきたすことが懸念されます。活動の参加・サポートの可能性についてお答えください。(あてはまるもの3つまで○)



令和7年7月 札幌市手稲区の自治会アンケート結果より

●アンケートで広く人材の発掘

- ・役員は、顔見知りからの発掘が多く、その範囲や世代は限られています。
- ・アンケートで広く人材を発掘することが大切です。



（３）小さな参加の入口をつくる

- 少人数でカフェミーティングを行い、地域コミュニティについて意見をもらいます。
- その中で、自治会への参加を促します。
- 小さなカフェミーティングを定期的にやりましょう。



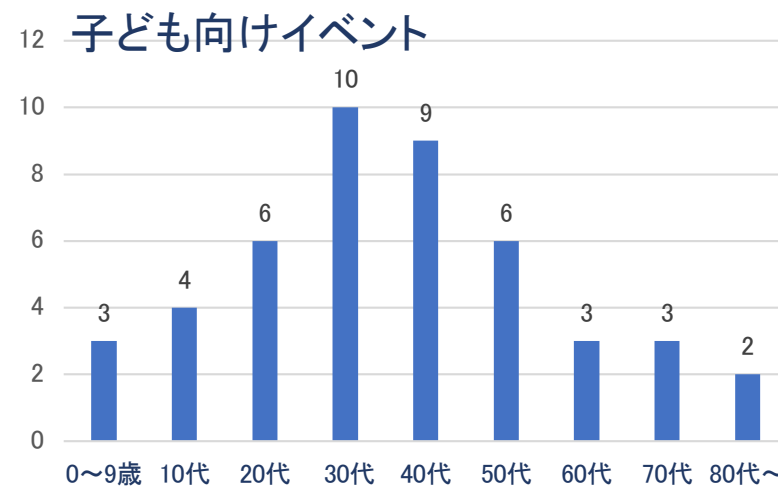
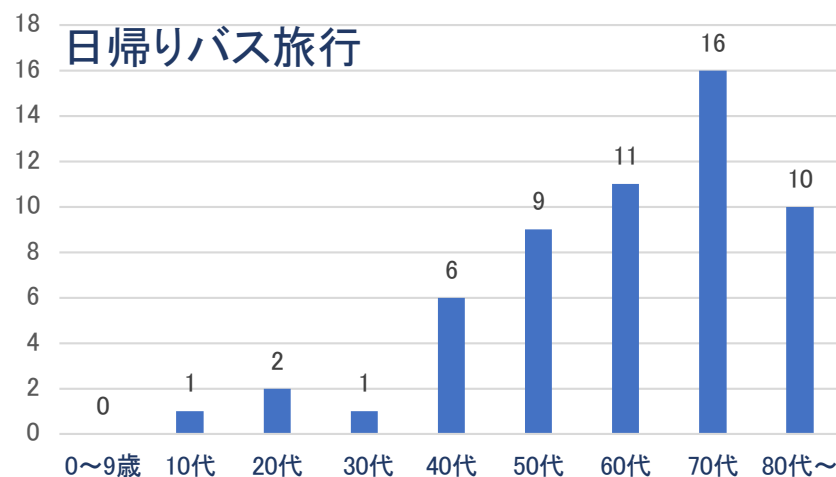
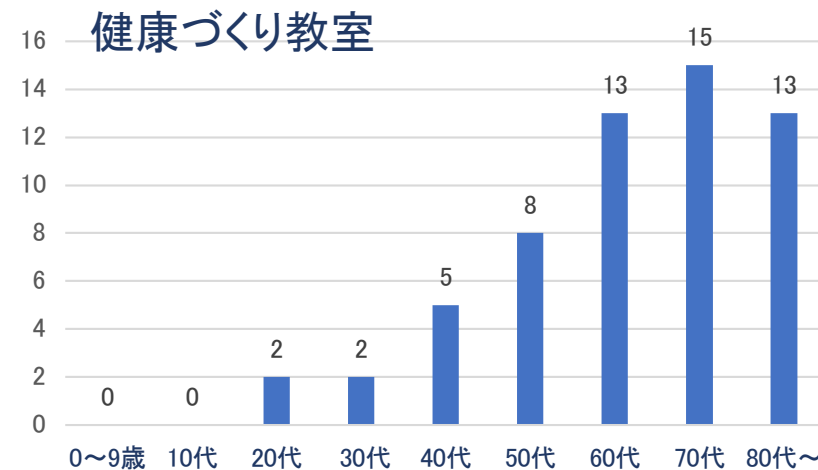
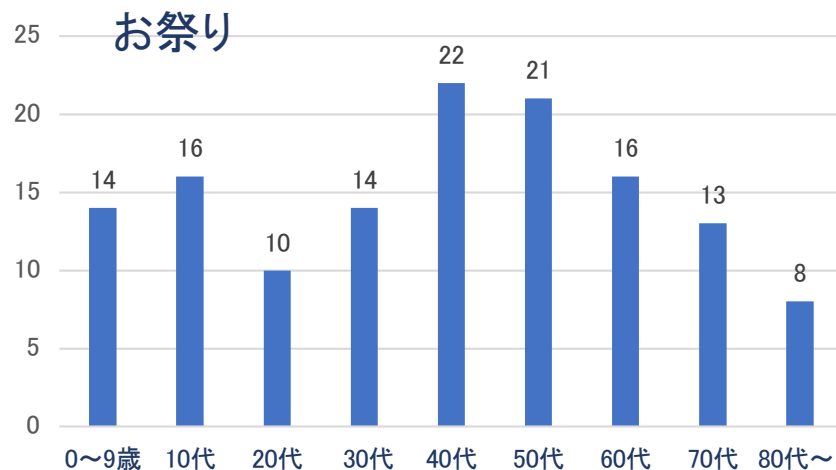
座談会は託児スペースと保育士さんにサポートしてもらうことで
参加しやすい会になります

- お料理教室や町内会主催の食事会で自治会についてヒアリング
- 地区内に住む子育て世代を対象にしたカフェトークで意見交換
- クリスマス会や子育て中の世代向けの活動のアイデアが出された



(4) ニーズに対応した活動を取り入れる

- 地域住民のニーズは多様化しています。



●ハロウィンイベント・クリスマスイベントはニーズが高い

- かぼちゃのランタづくりと仮装パレード
- 仮装パレードでは、クイズを解きながら町内のお宅を訪問してお菓子をもらいました



●既存の活動もニーズに対応～堺市錦綾(きんりょう)校区自治連合会

- 連合会の役員は、高齢者と若い世代が半数程度です。
- 連合会の会長は、高齢者世代と若い世代のつなぎ役も行なっています。
- つつじの花見の会のマグロの解体ショーやハロウィンイベント、月見の会、eスポーツもあるスポーツカーニバルなど若い世代の意見を取り入れながら活動を行なっています。



つつじの花見会のマグロの解体ショー





ハロウィンイベントを実施。多くの人が参加しています。



地域の方々がアイデアを出し合い、綱引きやグラウンドゴルフ、ヨガ、eスポーツなど老若男女問わず参加できる競技が行われました。

(5) 多世代が参加しやすいサポーター制度

- 共働き世帯や単身世帯の増加などにより、忙しい現役世代や若い世代が参加しやすい仕組みをつくる必要があります。
- できる時にできることに参加してもらおうサポーター制度や実行委員会などの仕組みをつくりましょう。

役員までは
仕事もあるので
できないけれど、
お祭りやイベントの
手伝いはできます



SNSで
地域の情報発信
なら手伝えます



子ども向け
イベントの
企画運営を
やりたいです



マルシェの
企画運営を
やります



●これまでの役員会とサポーターで多世代が参加・参画

	役員	サポーター
活動	これまでの活動を継承 	必要な活動・楽しい活動 
意思決定	役員会で意思決定 	SNSで企画・相談 
参加	役割・義務 	できる時にできることを 

●サポーター制度イメージ

サポーター制度を会則で位置付けることも考えられます。

会則(例)

第●条(自治会サポーター制度)

- 自治会は、地域のつながりを広げ、誰もが参加しやすい町内活動を推進するため、「自治会サポーター制度」を設ける。
- 自治会サポーターは、自治会の趣旨に賛同し、「できる時に・できることを」自主的に協力する者とする。
- サポーターは、自治会員に限らず、地域に関心のある者(在勤・在学・出身者等)も登録できるものとする。
- サポーターの主な活動は、次のとおりとする。
 - (1) 行事・イベントの企画運営
 - (2) 高齢者支援・清掃活動・防災訓練等への一時的参加
 - (3) SNSや広報など情報発信への協力
 - (4) その他、自治会長が必要と認めた活動
- サポーターの登録・管理については、自治会長がこれを行い、必要に応じて名簿を作成する。

●参加しやすい仕組み 東京都品川区の町会

(品川区町会自治会活動好事例集 参考)

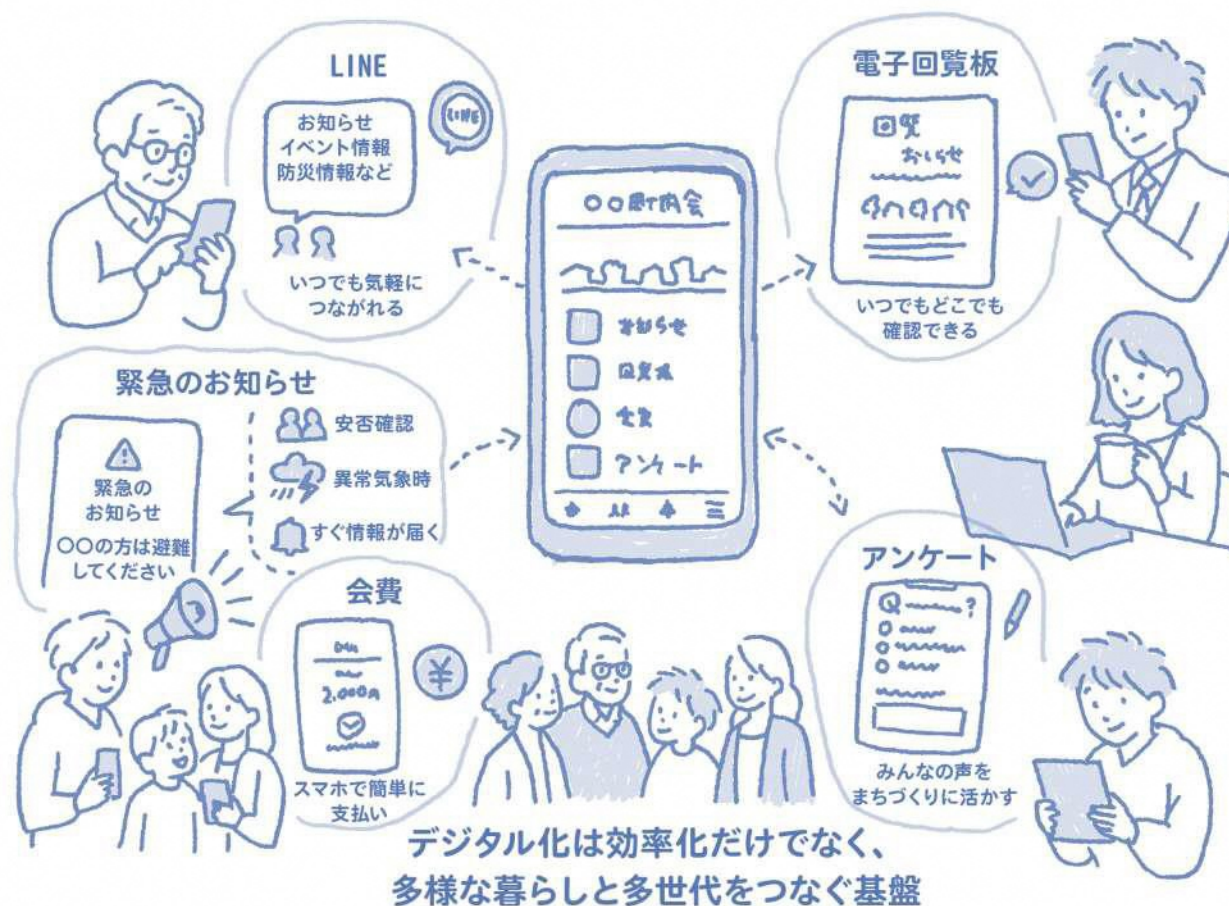
- ・ 小山2丁目東部町会では、お祭りを中心に手伝ってくれる組織「まつりの会」を設置（町会とは別組織）
- ・ 戸越4丁目町会では、お祭り やイベント開催時のみ、サポートしてもらうことを目的に「文化部」を設置

東京都品川区の町会にみるポイント

- ・ 若い世帯層を対象に、町会側がサポーター制度や「祭りの会」「文化部」などを設置して、若者が気軽に関われる仕組みを用意している
- ・ 町会とは別のサポーター・実行委員組織を設け、若い人たちに負担をかけず参加できるようにしている
- ・ 若手参加に「重責・継続活動」を求めず、「スポット参加」できる仕組みや若手主導の場を設ける

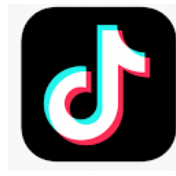
(6) デジタルは自治会・町内会の運営基盤

- デジタルはこれから自治会・町内会運営の基盤になります
- LINEオープンチャットやInstagramを活用し、回覧板をデジタル化し、若者や共働き世帯が情報を入手しやすくする
- また緊急時の連絡や見守りなどにSNSを活用する



●世代によって異なる利用するSNS

10代・20代前半



新聞・テレビは見ない
ネットで情報収集

20代・30代・40代



Instagramで情報収集

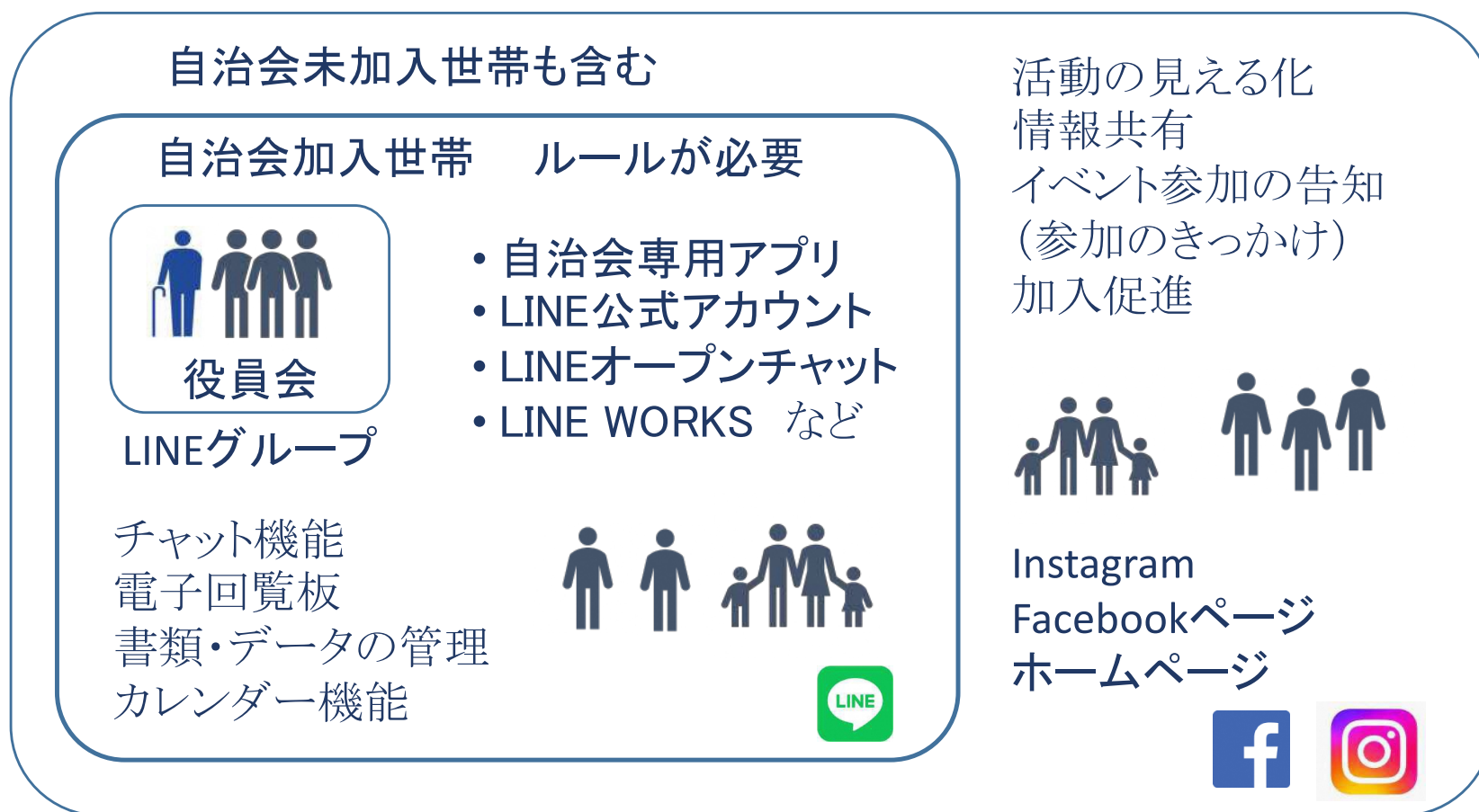
50代・60代・70代



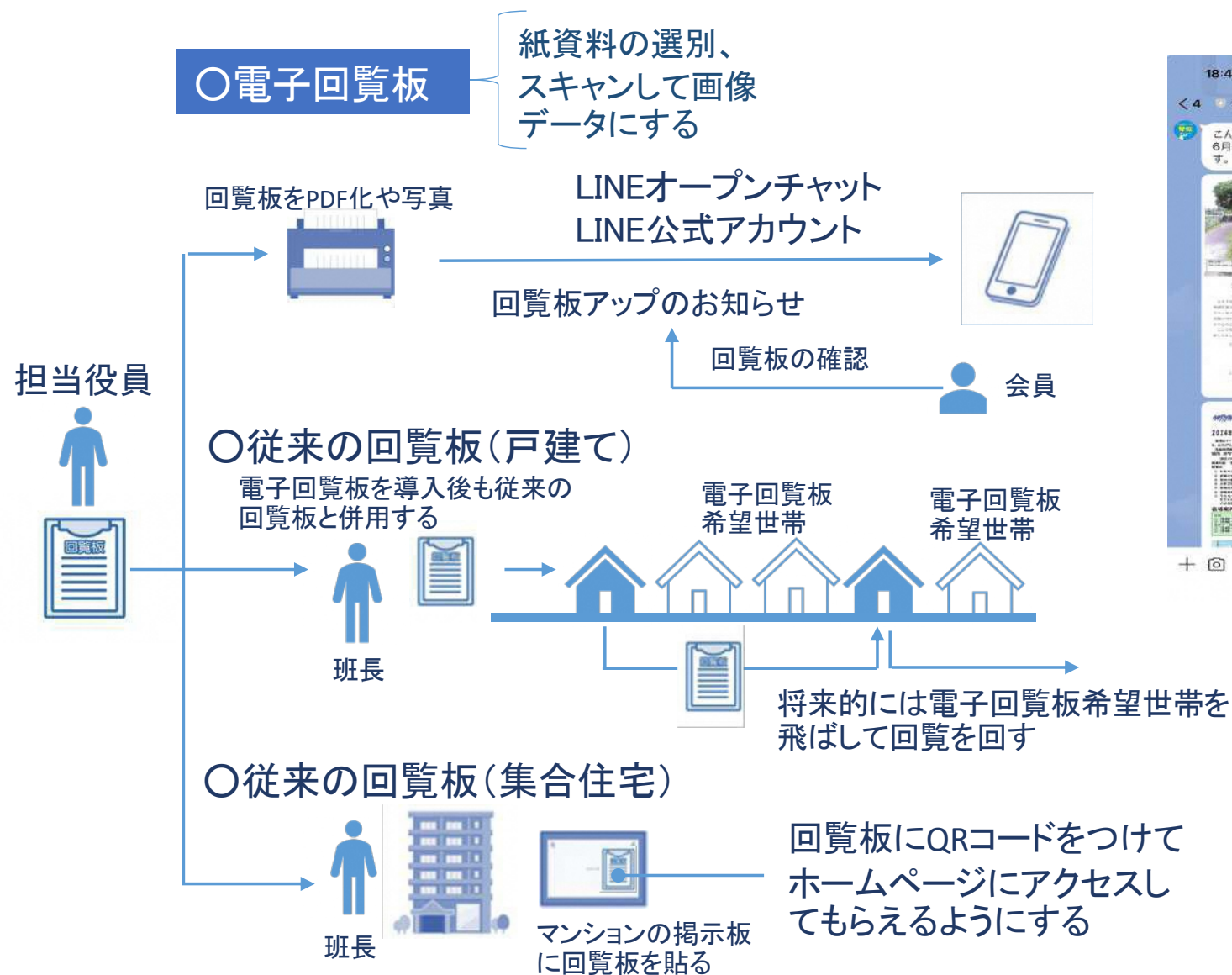
Facebookが多い
コミュニケーションはLINE

●自治会のデジタル化とツール

- 自治会加入世帯向けのツールと未加入世帯も含めたツールを使い分けることが大切です。



●LINEオープンチャット・公式アカウントでの回覧板

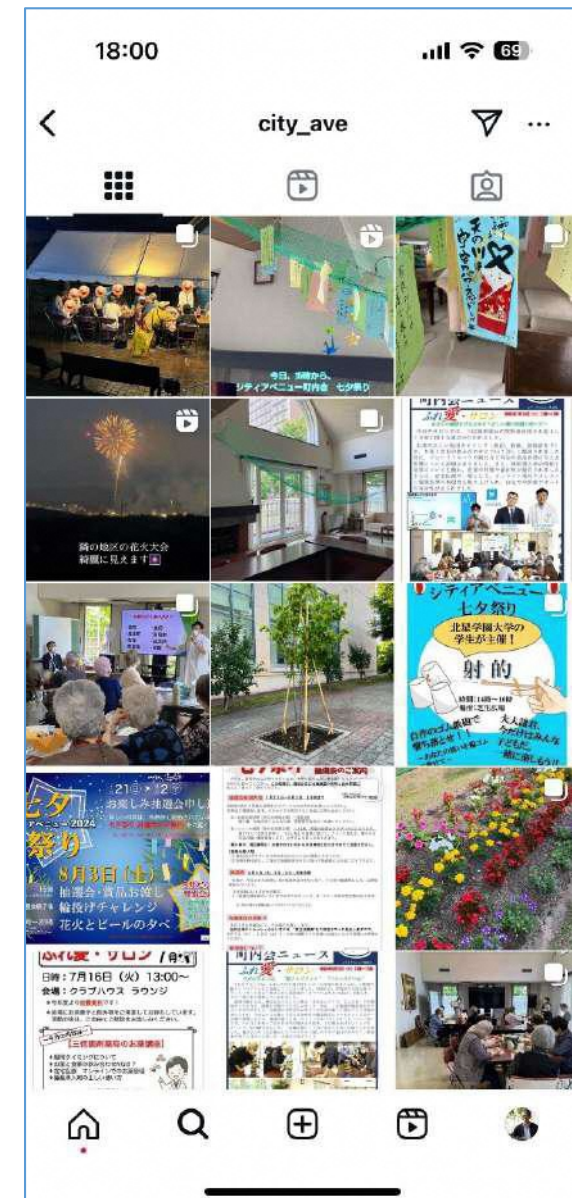


● Instagramによる自治会の情報発信

- 自治会の活動を写真や動画で発信します。

Instagramを活用したイベントの集客

- 自治会イベント専用ハッシュタグ (#〇〇自治会)
- 地域ハッシュタグの活用 「#〇〇自治会」
- 視覚的に目を引くポスターの投稿
- 過去イベントのハイライト動画
- 準備の様子やスタッフインタビュー
- カウントダウンスタンプ
- リマインダー投稿とリールでのアピール
- 当日のライブ配信



●高校生によるスマホ教室(札幌市北連合町内会×創成高校ボランティア部)

- 札幌創成高校ボランティア部の高校生が町内会役員にスマートフォンやLINEの使い方をレクチャー
- スマホの操作等についてわからないことや困っていることを気軽に聞くことができる



(7) 参加しやすい運営体制に変えていく

誰もが参加できる運営会議

- ・ 役員会の開催日時、開催方法(オンラインなど)
- ・ 役員のハードルを下げる

役員任期のルール化

- ・ 交代しやすい体制の整備

マニュアルづくり

- ・ 次の役員や班長に引き継ぐためにマニュアルを作る。

役員定年制

- ・ 役員の定年ルールを設ける

役員複数制で負担を軽く

- ・ 交代しやすく、負担が少なくなる複数制を導入する

部長

2年間

2年間

副部長

2年間

2年間

役員は複数制にして重複期間を設けることで継続性を確保できます

●参加しやすい自治会の事例(仙台市 市名坂東自治会)

役員の生活スタイルに合わせた無理のない柔軟な町内会運営

- 2008年4月から運営が開始された町内会
- 女性を中心に運営
- 役員会は月1回
- LINEグループを活用して意見が反映されるように工夫
- 役員の得意分野が生かせるように役割分担
- 役員の負担軽減から飲み会などは実施していない
- アンケート調査を経て集会施設を建設
- 集会施設で子育て支援「ずんだっこ」を運営、年間延べ1500人が参加
- クリスマス会や豆まきなども実施



●おやじの壁(ベテランの知識と経験)には要注意

- 長年自治会を支えてきた役員の経験や発言力が強くなりすぎることで、若い世代など、新しく関わろうとする想いのある人 が参加にしくならないように注意しましょう。
- 若い世代の提案には伴走役に徹しましょう。



おやじの壁
(ベテランの知識と経験)には要注意

多世代で「いいね」を連発して



3. 次世代につなげる 地域コミュニティのかたち

(1) 地域コミュニティは必要か

●東京都杉並区高円寺・小杉湯

銭湯を中心に若い世代が
地域コミュニティを形成



●コミュニティキッチン(デンマーク)

デンマークのコペンハーゲンでは、
2018年頃から、人々が集まって食事

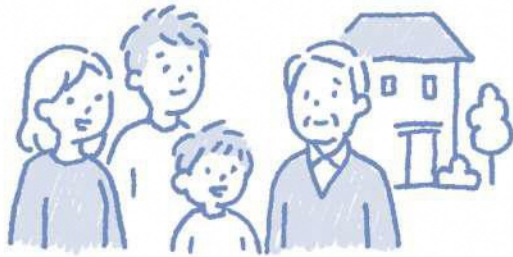


(2) 若い世代は将来を考えている



(3) 10年後から地域コミュニティを考える

現在



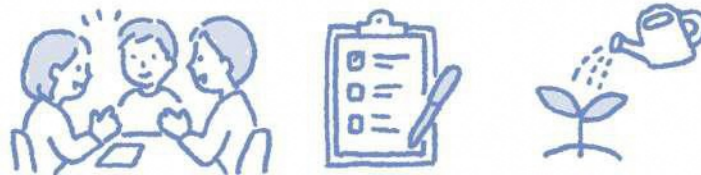
高齢化が進んでいる
担い手が不足
10年後は空き家が出そう

10年後



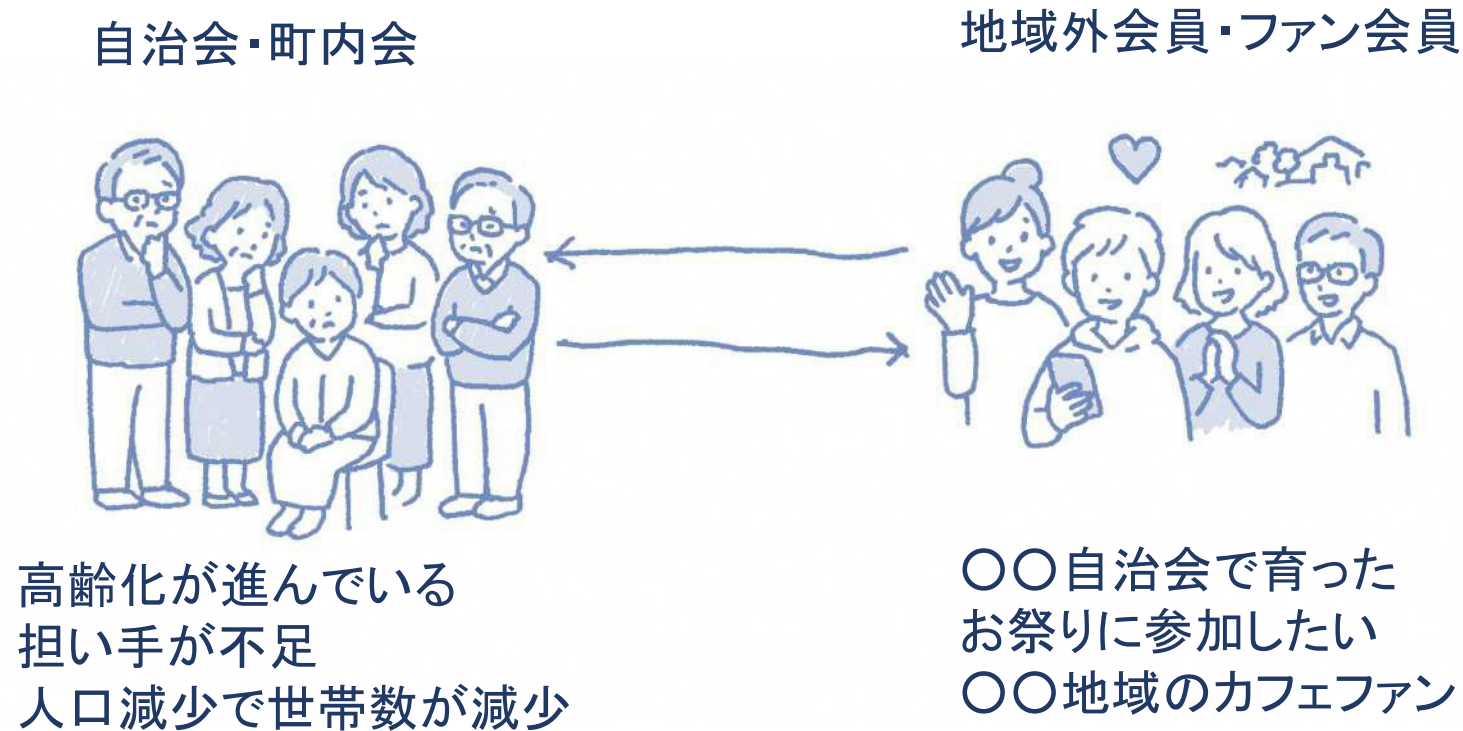
10年後も子育て世代に住んでほしい
ひとのつながりがある地域にしたい

子育て世代が憧れる地域にしよう



アクティブシニアが子育てサロン
小学生・中学生・高校生の居場所づくり

(4) 地域コミュニティのファンをつくる



(5) 地域コミュニティの場をつくる



●コミュニティカフェ～「カフェおへれんせ」(盛岡市松園2)

松園地域の住民有志による団体である「MATSUZONO Reborn プロジェクト研究会」が、コミュニティカフェをオープン。
担当するスタッフの一部も地域住民によるボランティアで運営。



出典:盛岡経済新聞



イベントも実施

●メゾンふじのき台（横浜市都築区）

- UR団地の自治会（世帯数626戸）で加入率は40%を切っている。
- 加入促進などを目的に会館を活用してカフェイベントを開催。
- 80名以上の方が訪れ、自治会に加入してくださった方もいた。



●コミュニティの場～「MORIのたね」(KITABA運営)

- 北海道恵庭市恵央団地に小さなコミュニティ施設を併設
- KITABAがコミュニティ施設を運営
- ランチ会(おにぎり)、カフェイベントなどを実施
- 高齢者、中学生、親子連れなどが参加



●町内会館を居酒屋

- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題だった。
- 町内会館での居酒屋がスタート。
- 大学生なども手伝いに来てくれ、町内会に関わるきっかけになった。
- 年に6回、奇数月の第3土曜日に開催している。
- 賃貸住宅やマンションの居住者も数多く参加しており、そこから町内会活動をサポートしてくれるメンバーも増えている。
- 町内会の役員と女性部が中心となって運営している。



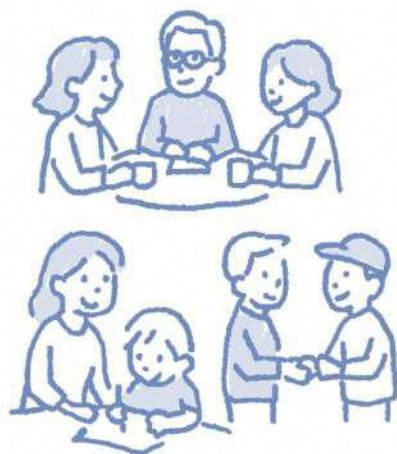
(6) ひらかれた組織で多世代で多様な活動へ



(7) こんな地域コミュニティ運営も

民間の発想やノウハウで地域コミュニティを運営する

民間企業と連携して
運営する



多様な団体と連携して
多様な活動を行う

コワーキングスペース



カフェを運営する



収益を考える



マルシェ・フリーマーケット

さらにコミュニティマネジメントという視点で考えると



ご清聴ありがとうございました



9月下旬頃に
「超町内会」という本もです

<http://www.kitaba.co.jp>
sakemoto@kitaba.co.jp



LINEオープンチャット
KITABA みんなの
町内会・自治会ひろば